

令和2年度 第2学年GIFT講話

講師 辰野 まどか さん

一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト (GiFT) 代表理事

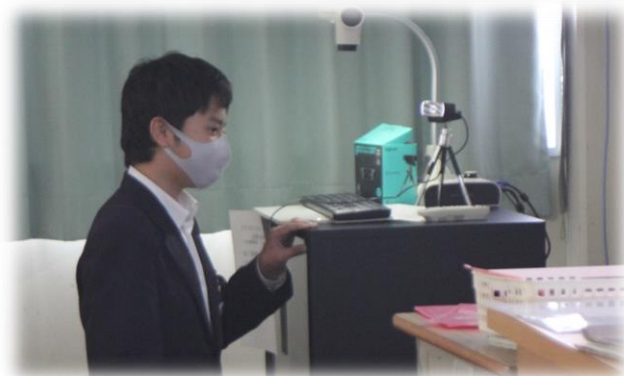


「グローバルシチズンシップの育て方」



今年はコロナ渦で、Zoom での開催となりました。上記の演題で、まずは一人の渋谷で遊ぶ女子高生が、どのようなきっかけで世界を舞台に活動されるようになったのかを話してくださいました。17歳の時のお母様からの誕生日の内容や、スイスでの会議の最終日に、老婦人に言われた一言を通して人生が一変した経験など、私たちの心に刻まれる深いお話でした。辰野さんはコーチングの専門家でもあり、主催している団体で行っているワークショップの一端も見せていただきました。辰野さんが20年前に書いた「未来予想図」を偶然見つけ、見てみるとほぼその通りになっていたお話から、その追体験の入り口に私たちを招き入れてくださいました。この活動の中で、日頃気付くことができない、または余裕がないと考えることができない「未来へ向かう心のエネルギー」を確実に認識できたのではないかと思います。

明日からの生活で、今日得たエネルギーを土台にして、「自分を行きたい場所に連れて行くことができる自分作り」をしていきましょう。



〈生徒の感想より〉

- ・グローバルな視点でお話をしてくださる中で一番心に残ったのは、「自分を知り、自分を認める。」ということでした。この入り口が一番自分にとって必要なことだと思いました。
- ・私は「世界を変えたい。」と思うことはまだ少ないですが「社会を変えたい。」と思うことはあります。色々してみようという意志があり「Learning Zone」に感じています。
- ・自分の望む未来について考えてみると、自分が思っていた未来は「このようなものだったのか。」と、自分のことなのに気づかされる感じでした。自分の思いを引き出せたのだと思います。
- ・自分の興味から、先生のように大きなことを達成することができると思うと、とても夢がふくらみました。小さな夢から大きな夢までいろいろな妄想しながら書き出してみます。